

一般質問(5)、決算・補正予算の審査から(1)



西3・4・11号線付近(住吉町6丁目)

定額給付金(新経済対策)を市は万全の体制で取り組め!

新井 五郎(公明)

質問 公明党が庶民の目線に立つて立案遂行してきたこの制度は、全国から高い評価を受けています。日経の調査では、賛成が26%、どちらかと言うと賛成が37%で、63%の方が好意を示しています。現佐賀県知事は「1999年の地域振興券のとき、旧自治省の推進室副室長でした。今回の定額給付金は地域振興券発行時より一般家庭で効果があるとあります。物価高騰は落ちついたとはいえ、生活必需品は依然高いままです。その上で今回の定額給付金は生活防衛のお金になるだけでなく、個人消費を活性化し、景気浮揚のきつかならざるを得ない点で評価できます。定額給付金は嵐のような経済状況の中で暖かな日差しのように国民に希望をもたらす政策になると期待しています。」と語っています。

その他プラスチックの分別には無料等のインセンティブが必要!

岩越 笙子(公明)

質問 国は防災拠点としての整備補助対象を2ha以上の大規模公園としてきたが、来年からは小規模公園も対象とする。来年度新設する公園等に活用する考えは、一時避難公園を防災拠点として整備拡充せよ。

中学校給食の早期実現を図れ! 青嵐中を親にした親子方式を!

佐々木 順一(公明)

意見 坂口市長4年間の評価として、市内から市長と教育長に対するリーダーシップの欠如を指摘する雑音が聞こえている。また、市民への十分な説明責任を果たさず強行した、ごみの有料化・各種手数料の値上げなど、市民不在の政治姿勢を指摘する。

市民生活の下支えが優先! 中学校給食の合意はまだない

森 てるお(無所属)

質問 不況対策としての民生支援は行わないのか。 答弁 都が対策に取り組む。 意見 民生支援は生活保護にも及ぶ。適切に対応せよ。 質問 障壁をなくして障害者の社会参加を推進するとする、市の具体的な施策は。 答弁 障害者総合福祉センターの整備で、地域生活の支援を充実させたい。

地区指定の今後の計画は。 答弁 市民会議では乗降客数や整備状況から、来年度は保谷駅が望ましいとの意見が出ている。 質問 その他プラの品質はAランクに改善されたけれど! 答弁 その他プラは洗って出すという市民協力のおかげで、品質がAランクに戻ったが、その他プラの量が減り、不燃ごみの量が増えているのではないかと。 意見 リサイクルの推進になっていない。その他プラの有料袋を無料等にしてインセンティブを働かせる必要がある。



西武柳沢駅北口の商店街

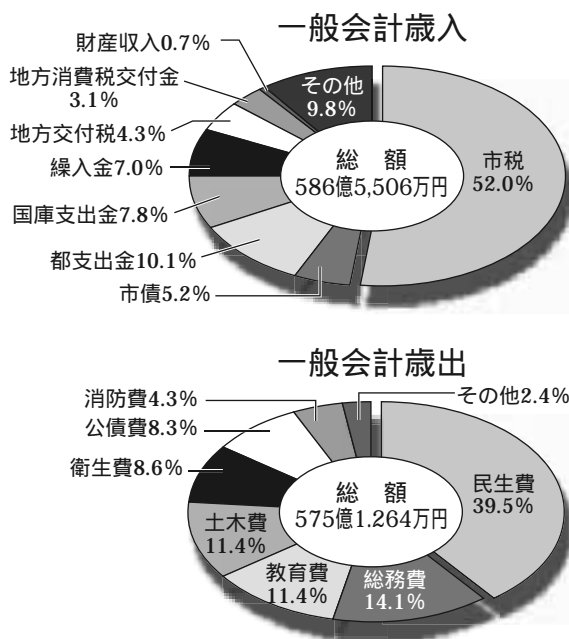


家庭ごみの収集

次に給食実施を予定している。全校実施の時期を明らかにせよ。青嵐中を親とし、明保中や、ひばりが丘中との親子方式について再検討を図れ。

<平成19年度各会計決算の概要>

Table with 4 columns: 会計名, 収入済額, 支出済額, 収入支出差引額. It details the financial results for various departments like National Health Insurance, Sewerage, and Social Welfare.



決算・補正予算の審査から 平成19年度決算については、去る10月6日から14日までの6日間にわたり決算特別委員会を開催して審査を行いました。また、平成20年度補正予算については、12月17日に予算特別委員会を開催して審査を行いました。ここでは、その主な内容についてお知らせします。